

年頭のご挨拶

一般社団法人 IT産業懇話会

代表理事 由利 孝

新年あけましておめでとうございます。2025年の始まりにあたり謹んで新春のお慶びを申し上げます。また、2024年における一般社団法人IT産業懇話会の諸事業に対し、会員各位にはご支援・ご協力を賜りましたこと心より感謝申し上げます。

さて、一般社団法人IT産業懇話会は昨年10周年の節目を迎え、現在、次の10年に向けて事業基盤の確立、新規事業の開発等々を着実に進めているところです。その事業推進に当たり、私は前任の西野様から請われて昨夏の理事会・総会で代表理事に就任いたしました。その際にも申し上げましたが、西野様には「企業と大学・専門学校を繋ぐ架け橋」としての役割を存分に担っていただいたと思っております。西野様が企業・学校双方の会員の発展、大きくはIT業界の発展に多大なる貢献をされたことに改めて敬意を表します。

さて、現下の社会・経済情勢は、数年間に渡り社会生活に不安をもたらした「コロナ禍」から脱し、平時に戻りつつありますが、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化やイスラエル・ガザ地区の紛争等、一筋縄では解決できない難題を抱えています。米国大統領選挙の結果と国内における先の衆議院選挙の結果等を見ても、世界における不確実性は益々高まっていると思います。

IT技術に目を向けても、DX（デジタルトランスフォーメーション）の加速は生活、ビジネスに大きな変化と影響をもたらし、「就活」の場でも今までにない変化を生み出しております。

生成AIを始めとするIT技術及びIT業界の役割は、益々重要性を増しています。それらの革新的技術を有効に活用するため、人材の質の多様化と量の確保も急務となってきております。

コロナ禍で進んだりリモート対応は、ビジネス・採用の場でも不可欠なものとなり、人と会わずにやり取りが完結する場面も増えました。当会もそのような変化に柔軟に対応してまいりました。

「企業と学生を繋ぎ」、「IT業界の発展により社会・経済に貢献する」ことが当会の目ざすところ です。人々の価値観の変化や行動様式の変化という経験を経て、当会も次の10年に向けて新たな方向性を見据えた事業展開を模索・展開する時期になってきております。

今年は、世界で起こっている戦争や紛争が収束し、明るい未来を語り合える、そんな世の中が戻ってくることを願いつつ、私ども一般社団法人IT産業懇話会も更なる発展に向けて尽力してまいります。

会員各位には、本会への一層のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご発展をこころより祈念いたします。

2025/1/1